

『平成29年度 安全推進協議会を開催しました』

当社は、平成20年3月の準備工事の開始に伴い、当社と建設作業に携わる方々で構成する「安全推進協議会」を組織し、建設工事に関わる災害防止に向けて活動していましたが、平成25年の建設工事完了により協議会としての活動を一時的に休止していました。

このたび事業の開始を見据え、当社事業全般に関わる安全の取り組みの強化と災害防止対策に万全を期するため、事業運営に携わる方々にも参加を頂き、今年度から新体制（会員12社）で活動を始めることとしました。

平成29年4月20日、4年ぶりに活動を再開した「安全推進協議会」には、会員である協力会社11社17名と当社11名が出席しました。

協議会では会則の改訂、役員選出を行い、会長となった峯雅夫RFS社長から「安全活動は継続して向上させることが大事。安全推進協議会メンバーと共に、我が国初の使用済燃料貯蔵事業に取り組んでいきたい。全員で協力して、職員の安全・健康はもちろん市民の安全も含めて、しっかり責任を持って実施していく会にしたい」と挨拶がありました。

また、副会長となった中村昭芳北新機材社長から「他の模範となるような会を目指していきたい」との力強い挨拶があり、協議会一丸となって安全活動を推進していくことを確認しました。

協議会では、毎月開催する定例会において、安全活動に関する情報連絡、意見交換、相互協力に向けた協議等を行っていきます。また、各社が協同して現場パトロールを行い、安全に、そして安心して働くことができる職場環境づくりを進めていきます。

【安全推進協議会の様子】



当社は、安全性向上への取り組みに終わりはないという意識の下、安全を第一義として事業を進めるとともに、地域の皆さまと共に歩んでまいります。